

氏名	赤枝 香奈子
職位	COE 特定助教
研究概要 <p>近現代日本において、なぜ現在のような親密圏が形成されたのか、その際、どのような関係が「正しくない」親密な関係として排除されてきたのかを明らかにするため、比較社会学的観点から同性同士の親密な関係に焦点を当て研究を行い、成果を発表してきた。具体的には以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2008 年度次世代研究として採用された「日本とタイにおける同性間の親密な関係の国際比較」で、日本とタイにおいて文献調査およびフィールドワークを行った。第一回研究成果報告会で研究成果を報告し、ワーキングペーパーを執筆した。 ・ 第一回次世代グローバルワークショップにて、<i>Intimate Relationships between Women in Modern Japan</i> のテーマで口頭報告を行い、プロシーディングスを執筆した。 ・ 2009 年度エラスムス教員派遣（2009 年 5 月 27 日～8 月 24 日）により、海外パートナー拠点のひとつであるフィンランドのユバスキュラ大学社会科学部に客員研究員として滞在し、<i>Intimate Relationships between Same Gender in Finland and Japan</i> のテーマについて、文献調査およびフィールドワークを行った。 	
教育概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記エラスムス教員派遣期間中に、<i>Gender and Sexuality in Modern Japan: The Reception of Western Romantic Love and Sexology</i> のテーマで講義を行った。 ・ 2009 年 7 月より、歴史研究班共同研究「戦後日本におけるジェンダーとセクシュアリティの歴史研究」を今田助教と主催している。毎月の研究会開催のほか、特別セミナー（2010 年 3 月）を企画、開催した。 <p>このほか、次世代グローバルワークショップや研究成果報告会の運営に携わり、また歴史研究班研究会でコメンテーターを務めるなど、次世代研究者への助言も行っている。</p>	
業績リスト <p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『性的なことば』（共著）、講談社現代新書、2010 年 1 月、担当部分：277-286 頁 <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「イヴ・K・セジウィック『ホモソーシャルティ』」、井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシック 近代家族とジェンダー』、世界思想社、2010 年 1 月、135-144 頁。 2. 「同性婚・パートナーシップ制度」、井上真理子編『家族社会学を学ぶ人のために』、世界思想社、2010 年 2 月、153-174 頁 3. 「日本とタイにおける同性間の親密な関係の国際比較——同性愛とトランスジェンダーを中心に」（2008 年度次世代研究ワーキングペーパー）、2010 年 2 月。 <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <i>Intimate Relationships between Women in Modern Japan: The Reception of Western Romantic Love and Sexology, Proceedings of the 1st Next-Generation Global Workshop, Kyoto University Global COE Program, March 2009, pp. 21-30</i> 	

